



今回、過去も含めて
ART誘発ゴトを
会社別に説明しよう

桜前線が北上中ですが、今年は2月の厳しい寒さが長引いたせいで、桜の花芽の生長がやや遅れて、多くの都道府県で平年より桜の開花が遅れているそうです。北海道の桜の開花時期は、毎年ゴールデンウィーク前後に梅とほぼ一緒に桜も開花します。長い冬がやっと終わり、雪が解けて草木がいつせいに芽吹きはじめる北海道の春に、桜前線と共にパチンコ店にとって

ありがたい奴らも北上してきます。そう！ゴトグループです。

雪が解けて車での移動がしやすくなる時期と、桜前線の時期がリンクしているのです、毎年この時期に本州から多数のゴトグループが来襲して、あちこちのホールで悪さをしていきます。ただ、昨年は東日本大震災の影響で、北海道に渡ってくるゴトグループが平年よりかなり少なかったのですが、今年はその反動で多くのゴトグループが来襲する可能性が高いので、「ゴトに勝つ！」という気持ちを強く持ち、役に立つ情報を提供して行きたいと思っています。

今回は、この連載で毎回のようにお伝えしているART誘発ゴトについて、被害メーカーの事例毎に分けて説明していきたいと思

います。この連載では、毎回新たなゴト手口を中心にお伝えしておりますが、過去の手口でのゴト被害がなくなつた訳ではありません。新しいゴト手口にはかり目を奪われて、バラエティコーナーに残されている旧台が被害に遭うという残念な事例を耳にすることがあります。まずは、過去の手口を

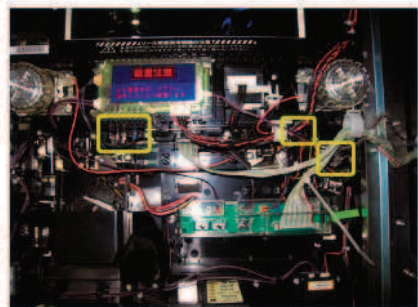


写真1 ユニバーサル各種ボタン対策部品



写真2 エレコ(赤ドン雅)セル挿入箇所

再認識して、バラエティコーナーに1台しか設置がない旧台であってもセキュリティを万全にし、その上で、新たなゴト手口に警戒してください。



ユニバーサル系 まだ気を抜けない 各種ボタンへの攻撃

まずは「赤ドン雅」で全国的にゴト被害が続いているユニバーサル系スロットについてですが、その被害機種は「赤ドン雅」「ミリオンゴッド」神々の系譜」「緑ドンVIVA!情熱南米編」「デビルマンII(悪魔復活)」「銀河英雄伝説」「バジリスク」等、ユニバーサル系ART機全機種がゴトのターゲットにされており、いろいろな手口でゴト被害が発生しているので注意が必要です。

ゴトに勝つ

9

高石隆一

ARTゴトはメーカー共通
「サブ基板」につながる個所



写真3 ユニバーサル 犯行時カモフラージュ

ユニバーサル系ART誘発ゴト
 手口その①として、昨年に被害が
 多数発生した各種ボタンを外して
 のゴトについてです。この手口は、
 メーカーからの対策部品の提供に
 より、最近ではかなり被害発生件
 数が少なくなつたと思われている
 手口になります。実際には対策
 部品取り付けの不具合などにより、
 未だこの手口での被害が発生して
 いるので、気を抜くことなく引き
 続き注意してください。

このゴトの手口は、1BETボ
 タン及び精算ボタンまたはMAX
 BETボタンをこじ開けて、セル
 でドア基板とサブ基板をつないで
 いる2ピンハーネス(配線)や中継
 基板を狙うというものでした。ま
 た、各種ボタンを不正品に交換す
 るという手口もありました。

対策として、まずは各種ボタン
 を不正にこじ開けることを防止す

るメーカー
 対策部品が
 正しく取り
 付けられて
 いるのかを
 再確認して
 その後は、

メーカー対策部品の緩みや、各種
 ボタンのキズと防護状況を、定期的
 に確認することを忘れずに実施し
 てください。

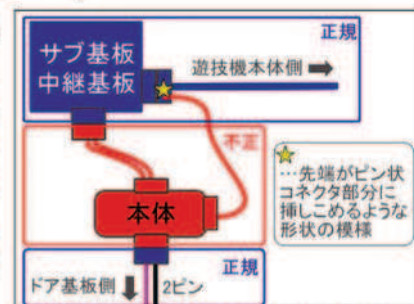


写真4 エレコ(緑ドンE)ぶら下がり取り付け図

セルゴトに新手口も COMエラーに 注意するのも大切

ユニバーサル系ART誘発ゴト
 手口その②として、筐体左側面と
 灰皿上のパネルの隙間からセルを
 挿入するというものです。「赤ド
 ン雅」や「ミリオンゴッド」神々
 の系譜」でのゴト被害は、この
 手口によるものがほとんどです。
 また最近では、筐体左下部側面か
 らセルを挿入するというパターン
 も出てきております。

この手口はグループによる犯行
 がほとんどで、実行犯が筐体にセ
 ルを差し込む際に、その両隣には

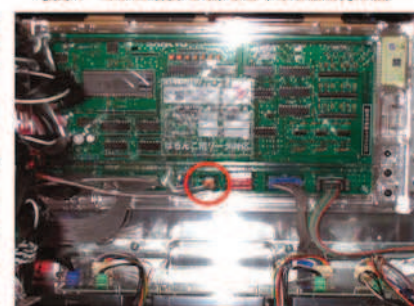


写真5 SANKYO 狙われる箇所①

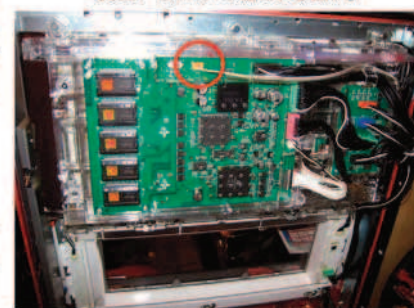


写真6 SANKYO 狙われる箇所②

壁役の仲間が陣取っており、ゴト
 作業を行う時には壁役がナンバ
 ランプのデータを見るフリをして
 立ち上がったたりして、周りからゴ
 ト作業が見えないようにカモフラ
 ージュしてきます。

手口①、手口②に共通するのは、
 犯行時にCOMエラーが発生する
 場合があるということです。CO
 Mエラーとは、主基板とサブ基板
 をつなぐ配線についての電気系統
 トラブル時に発生するエラーで、
 通常の遊技であればほとんど発生
 することのないエラーで、エラー
 履歴をチェックすることでその発
 生が確認できます。被害に遭った
 過去の事例全てでCOMエラーが
 発生していた訳ではありませんが、
 ゴト被害の発見方法の参考になる
 ので、エラー履歴のチェック方法
 を確認しておいてください。

この手口はグループによる犯行
 がほとんどで、実行犯が筐体にセ
 ルを差し込む際に、その両隣には



写真7 SANKYO セル挿入箇所(セル返しが無い)

ユニバーサル系ART機のゴト
 に関して、ここまで説明した以外
 に、ドア基板とサブ基板をつない
 でいる2ピンハーネスに、「ぶら
 下がり」が仕込まれていたケース
 もあるので、ご注意ください。発
 見された「ぶら下がり」はジョイ
 ントタイプで、サブ基板側のコネ
 クタ部に接続するタイプでしたが、
 ドア基板側にも仕込まれている可
 能性もあるので、定期的な安全点
 検をお願い致します。

SANKYO・ピステイ セルゴト対策部品の 設置をしっかり確認

次のメーカーは、今年になって
 「パチスロ創聖のアクエリオン」
 でARTゴトの被害が相次いで発
 生したSANKYOのピステイに
 ついてです。SANKYO・ピス
 テイのART機は、昨年の11月頃

写真8 山佐セル挿入箇所



写真9 山佐 狙われる配線

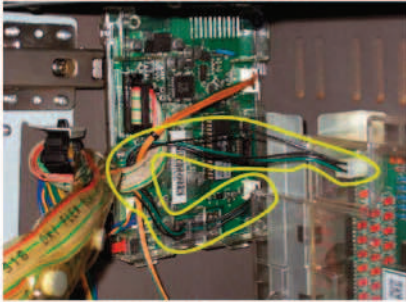
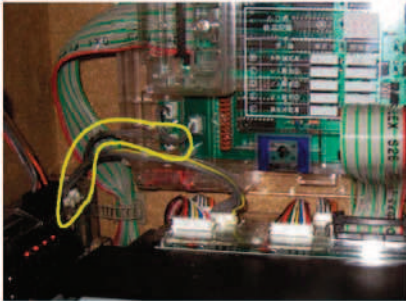


写真10 KPE セル挿入箇所



写真11 KPE 狙われる配線



に「パチスロ超時空要塞マクロス」で発生したセルゴトが、最初の被害でした。「パチスロ創聖のアクエリオン」「パチスロ超時空要塞マクロス」以外では、「サムライ7」「パチスロX JAPAN」なども同様に狙われる可能性が高いので注意が必要です。

SANKYO・ビステイのART誘発ゴトは、メイン基板とサブ基板をつなぐ3ピンハーネス及びコネクタ部をセルで狙い、セルの挿入箇所は筐体右上部からというものでした。他のART誘発ゴトと違って筐体右上部からセルを挿入する理由は、筐体枠側の上部と右側には鉄板によるセル返しが付いているのですが、右上の角部分だけ鉄板がぶつからないように隙間が空いていたのです。このような構造上のエアポケットを、ゴトグループが見逃すはありますが、ま

せん。このゴト手口の対策として、2月末頃に(株)SANKYO及び(株)ビステイから無償で対策部品が提供されています。対策部品とは、主基板とサブ基板をつなぐハーネスの両端のコネクタ部をカバーする透明な部品のことです。このメーカー対策部品の設置状況を、すぐに確認してください。対策部品が未設置のホールにおかれましては、対策部品の取り付け作業は当該メーカーの担当者が行うことになっておりますので、早急に最寄りの(株)SANKYOの各支店・営業所に連絡をし、対策部品の取り付け作業の日程調整を行ってください。(株)ビステイの「サムライ7」に関しては、販売代理店であるフィールズ(株)に連絡してください。

メーカー対策部品設置後は、変

更届を所轄に提出することを忘れずに実施してください。変更のあった日から1か月以内に変更届出書を公安委員会に提出することが必須事項です。

「モンキー」だけでなく「布武2」などにも被害の可能性あり

山佐のART機のゴトは、「モンキーターン」のぶら下がりと不正サブ基板に関して嚴重な警戒が必要なのは前回お伝えいたしました。が、今度は「モンキーターン」でセルゴトの被害が頻発しているのにご注意ください。

※「モンキーターン」のぶら下がりと不正サブ基板のゴト手口に関しては、前号の日遊協3月号を参照してください。

山佐のART機のセルゴトは、昨年10月頃に「サイバードラゴン2」

での被害が全国的に発生したのが記憶に新しいと思いますが、今回被害に遭った「モンキ

ーターン」も「サイバードラゴン2」の時と同様の手口で被害に遭いました。

手口は、筐体左側面及び筐体左上部のランプカバー周辺に導入板(ゲタ)を差し込んで隙間をつくり、その隙間からセルを刺し込んで、主基板とサブ基板をつなぐ4ピンハーネスを狙うというものです。

「サイバードラゴン2」に関してのみ、主基板とサブ基板をつなぐハーネス及び両端のコネクタ部を透明な部品(3点でカバーすることにより、サブ基板への不正信号の送信を防止するというメーカー対策部品が、2月末頃から無償提供されています。

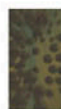
SANKYO・ビステイのメーカー対策部品と同様に、自店の防護状況の確認を早急に変更して、対策部品が未設置の場合は、最寄りの販売店に連絡をし、対策部品の取り付け作業の日程等の打ち合わせ行ってください。

※変更届の提出も忘れずお願いします。山佐のART機のセルゴトで被害報告が入っているのは、「サイバードラゴン2」と「モンキーターン」の2機種のみですが、「天下布武2」や「カンフー大戦」など

KPEと同様に最近の機種で被害は発生していませんが、昨年多種多様のゴト被害が発生したサミー系のART機のゴト事例も忘れてはいけません。被害機種は「交響詩篇エウレカセブン」「蒼天の拳」

最近のKPEのスロット台で被害は発生していませんが、昨年は「マジカルハロウィン2」において、リール窓左下部分に力をかけることで、ランプカバーとリールパネルの間に強引に隙間を作り、その隙間からセルを挿入して、メイン基板とサブ基板をつなぐ3ピンハーネスを狙うという手法で全国的に被害が多発しました。

バラエティーコーナー 旧機種だといって 油断してはいけない



の同メーカーのART機において、同様のセルゴトの被害が発生する可能性が高いのでご注意ください。※ちなみに「鉄拳2」以降の機種は、このセルゴトに関する対策があらかじめ実施されており、この記事が皆様のお手元に届く頃には、「モンキーターン」を含む山佐の全ART機に対して、メーカー対策部品が提供されていることを願っていますが：

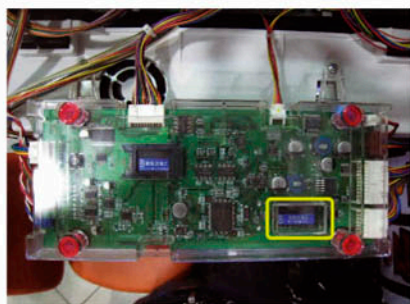


写真12 サミー系 不正サブ基板

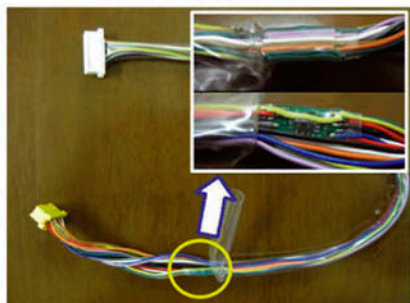


写真13 サミー系 ぶら下がり



写真14 サミー系 狙われる箇所ぶら下がり

「新鬼武者」などででしたが、これらの機種は今現在もバラエティーコーナーに多数設置されています。ゴト手法は、「不正サブハーネス」「不正サブ基板」などの不正部品を仕込むというものでした。「不正サブハーネス」には、丸ごと不正ハーネスに全交換するタイプと正規ハーネスに不正品をジョイントさせるタイプ、コネクタ部に不正なフィルム状の基板を挟み込むタイプなどがあります。

毎日少しずつでいい 点検を実施したら かならず記録に残す

ART機のゴトで狙われる箇所は、全メーカー共通で「サブ基板」につながる箇所が狙われています。ユニバーサル系では、ドア基板とサブ基板をつなぐハーネスで、SANKYO・ピステイ、山佐、KPE、サミー系では、メイン基板とサブ基板をつなぐハーネスが狙われていました。

セルゴトで狙われたART機に関しては、「ぶら下がり」と「不正サブ基板」でもゴト被害が発生する可能性があるので警戒が必要です。何度もお伝えしていることですが、入替えてART機の中古台を設置する際には、ゴト被害の痕跡確認はもちろんのこと、「ぶら下がり」と「不正サブ基板」のチェックを入念に実施してください。

重要なことは、遊技台の点検を実施したら、必ず記録を残すことです。そして、定期的に、時には突然、遊技台の点検を実施し続けることです。一回に全遊技台の点検をすることは、大変な作業量になってしまいますが、毎日1列ずつ点検するなどの工夫により、1か月で全遊技台の点検が終わるといった方法を実施しているホールもあります。もちろん、弊社のようなセキユリテイ会社社に外注するという方法もあります。

正常な遊技機でお客様に遊んでもらうということは、公安委員会から許可をもらって営業しているパチンコ店において、絶対に守らなければいけないことです。例えばゴト被害による不正だとしても、その責任はホールにかかってくることを深く理解しておく必要があります。

■高石隆一 ■たかいしりゅういち
警備会社の指導員、セキユリテイ会社を経て2003年、有限会社ジャパン・セキユリテイ・サービスを設立し代表取締役。札幌方面遊技事業協同組合、札幌遊技業協同組合、札幌遊技業支配人会の顧問を務めるかたわら、パチンコ産業のセミナー講師を数多く務める。北海道警察本部の捜査にも協力している。「一期一会」が座右の銘。